

**今年度（2018年12月～2019年1月）の忘年会・新年会の動向を調査
 想定予算は1回当たり平均4,395円で2年連続増加
 「会社・仕事関係」の忘年会・新年会が過去最高の実施予測
 積極的に参加したい20・30代が増加**

株式会社リクルートライフスタイル（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：浅野 健）の外食市場に関する調査・研究機関「ホットペッパーグルメ外食総研」（<https://www.hotpepper.jp/ggs/>）は、首都圏・関西圏・東海圏の男女約9,800人を対象として、今年度（2018年12月～2019年1月）の忘年会・新年会（以下、忘・新年会）についてのカスタマーアンケートを実施しました。結果から見てきた年末年始の宴会シーズンの動向を発表します。

<要約>

POINT1 今年度の忘・新年会への参加回数は「昨年度並み」の見込み

・・・ P3-5

- 3圏域（首都圏・関西圏・東海圏）合計では、忘・新年会の参加予定回数は「昨年と変わらない」が78.8%。今年度の忘・新年会マーケットは昨年度と大きく変わらないと予測される。

【参考】

昨年度（2017年12月～2018年1月）の忘・新年会の平均参加回数は、忘年会1.15回、新年会0.66回。

**POINT2 1回当たりの予算は平均4,395円（前年比+19円）で
 2年連続で増加の予測。首都圏の上げ幅が大きい**

・・・ P6-7

- 今年度の忘・新年会1回当たりの予算は、「5,000円～6,000円未満」（30.1%）と「3,000円～4,000円未満」（25.9%）が多く、平均想定予算は4,395円と2年連続して増加（前年比+19円）の予測。
- 圏域別では、首都圏の平均想定予算の上げ幅（前回調査4,362円→今回調査4,412円）が最も大きい（前年比+50円）。

**POINT3 「会社・仕事関係」の忘・新年会の実施予定が過去最高の44.9%
 20・30代で「積極的に参加したい」人が増加**

・・・ P8-9

- 今年度実施予定の忘・新年会は「会社・仕事関係」（44.9%、前年比+1.4ポイント）が最も多く、続いて「友人・知人関係」（37.3%、前年比-0.6ポイント）だった。「会社・仕事関係」の実施予定は過去最高を記録。
- 積極的に参加したい忘・新年会は「友人・知人関係」（30.3%、前年比-0.7ポイント）が最も多く、続いて「会社・仕事関係」（19.5%、前年比+0.9ポイント）だった。「会社・仕事関係」の忘・新年会への積極参加意向は20・30代では男女とも数値が前年比で増加している。このところ景気の回復や人手不足により、「会社・仕事関係」の忘・新年会では、会社が費用負担などを行うケースも目立つことから、20・30代の参加に対する心理的なハードルが下がっている可能性があるようだ。

【本件に関するお問い合わせ先】

<https://www.recruit-lifestyle.co.jp/support/press>

調査概要と回答者プロフィール

- ◎調査名 外食市場調査(2018年10月度)
- ◎調査方法 インターネットによる調査
首都圏、関西圏、東海圏における、夕方以降の外食および中食のマーケット規模を把握することを目的に実施した調査(外食マーケット基礎調査)の中で、昨シーズンの忘年会・新年会についての実績や、今シーズンの意向などを聴取。
- ◎調査対象 首都圏(東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県、茨城県)、関西圏(大阪府、京都府、兵庫県、奈良県、滋賀県)、東海圏(愛知県、岐阜県、三重県)に住む20~69歳の男女(株式会社マクロミルの登録モニター)

■事前調査

- ①調査目的 本調査の協力者を募集するために実施
- ②調査時期 2018年9月20日(木)~2018年10月1日(月)
- ③調査対象 首都圏、関西圏、東海圏に住む20~69歳の男女(株式会社マクロミルの登録モニター)
- ④調査内容 本調査への協力意向、普段の外食頻度、普段の中食頻度
- ⑤配信数 368,713 件
- ⑥回収数 35,114 件
- ⑦本調査対象者数 16,569 件

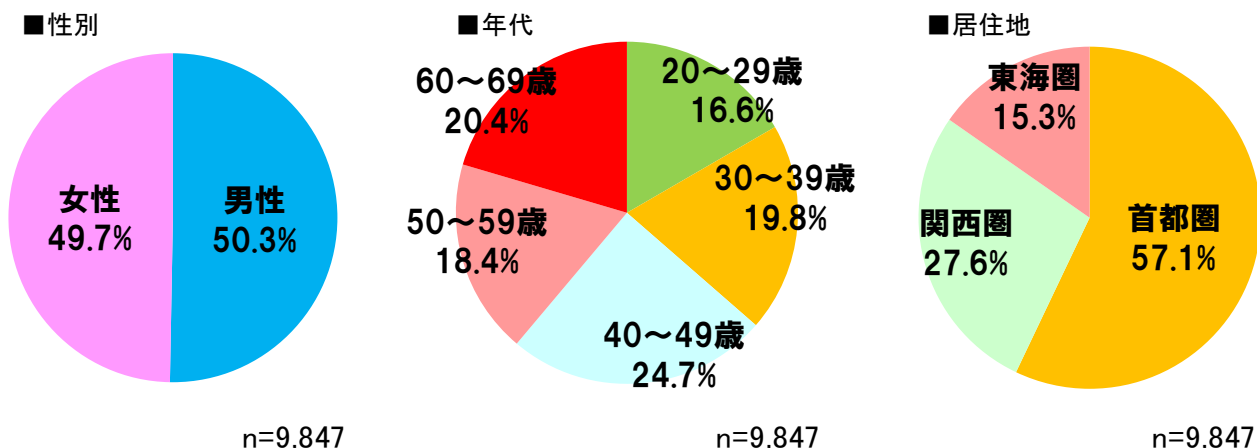
- ◆本調査対象者の割付について
 - ・本調査では、回答者の偏りをできるだけなくすために、割付をおこなって回収した。
 - ・性年代別10区分×地域別25区分(首都圏地域13区分、関西圏地域8区分、東海圏地域4区分)=250セルについて、平成28年人口推計(総務省)に基づき割付をおこなった。
 - ・本調査の目標回収数は、首都圏4,000s、関西圏2,000s、東海圏2,000s、合計8,000sとした。

■本調査

- ①調査方法 ・事前調査で本調査への協力意向が得られたモニターの中から、脱落率を加味して設定した必要数をランダムに抽出し、本調査の案内メールを通知。
 - ②調査期間 2018年11月1日(木)~2018年11月7日(水)
 - ③配信数 13,347 件
 - ④回収数 9,915 件 (回収率 74.3 %)
 - ⑤有効回答数 9,847 件 (首都圏 4,946 件、関西圏 2,600 件、東海圏 2,301 件)
- ※回収された票のうち、自由回答コメントから、趣旨に合わないと思われる票を無効としたほか、事前調査時の普段の外食・中食頻度の回答と、本調査時の1カ月間の外食・中食回数が著しく乖離している場合、事前調査時の住所と、本調査時の住所が、圏域を越えて変わっている場合を無効とした。

- ◆集計方法について
 - ・本調査結果は、平成28年人口推計(総務省)における割付(性年代別10区分×地域別25区分=250セル)別の構成比に合わせてサンプル数を補正したウェイトバック集計をおこなっている。
 - ・補正後のサンプル数は次の通り。
3圏域・計 9,847 件(首都圏: 5,620 件、関西圏: 2,720 件、東海圏: 1,506 件)

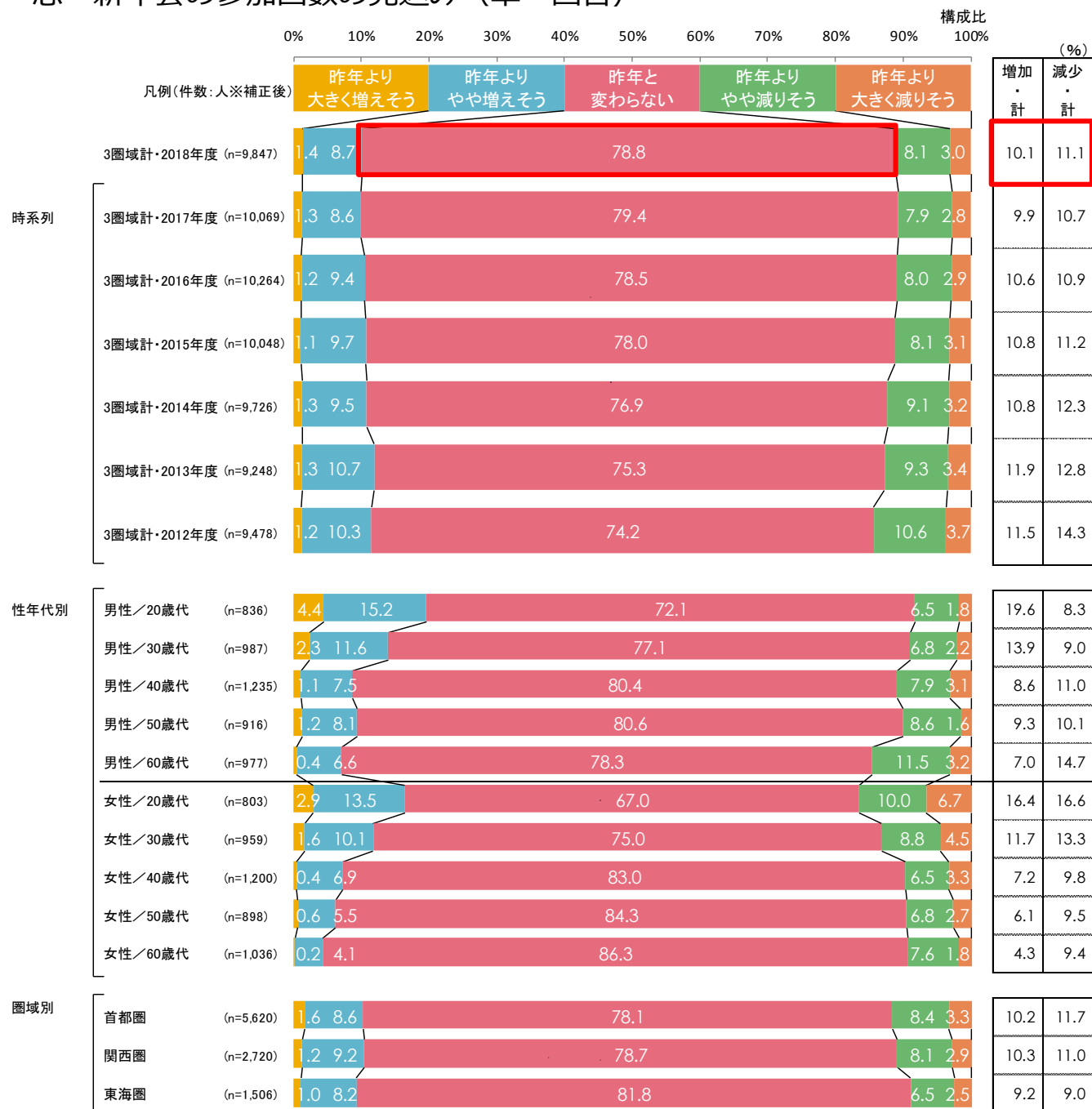
◆回答者プロフィール(ウェイトバック後)



1. 今年度の忘・新年会への参加回数は「昨年度並み」の見込み

今年度（2018年12月～2019年1月）の忘・新年会の参加回数の見込みは「昨年と変わらない」という回答が首都圏・関西圏・東海圏の3圏域合計で78.8%。過去最高の数字を記録した昨年度よりはやや減ったものの、2012年の調査開始以来で過去2番目に高い数字となっている。「昨年より大きく増えそう」「昨年よりやや増えそう」の“増加派”は計10.1%（前年同調査では9.9%）、「昨年より大きく減りそう」「昨年よりやや減りそう」の“減少派”は計11.1%（前年同調査では10.7%）で、減少派が増加派を微妙に上回ったが、全体として大きな変化はなさそうだ。5ページに掲載している昨年度の参加実績では、忘年会で平均参加回数1.15回、新年会で同平均0.66回（共に0回含む）となっており、今年度も昨年度並みの参加回数になりそうだ。

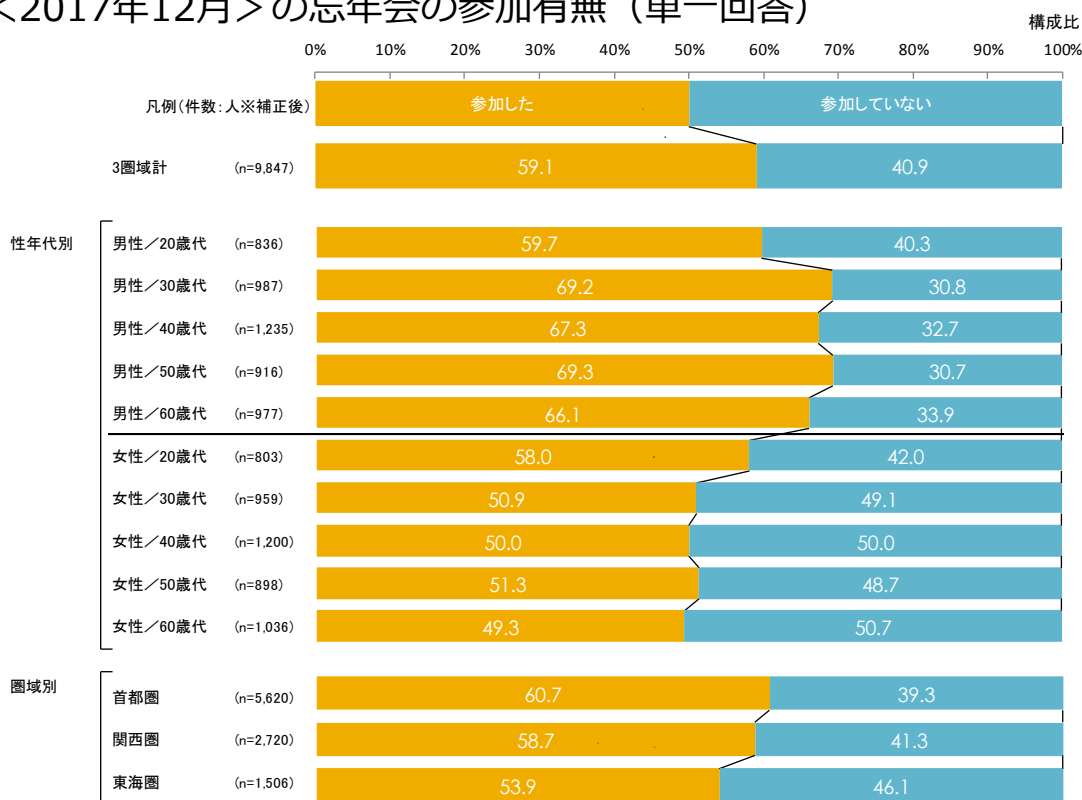
■ 今年度<2018年12月～2019年1月>の忘・新年会の参加回数の見込み（単一回答）



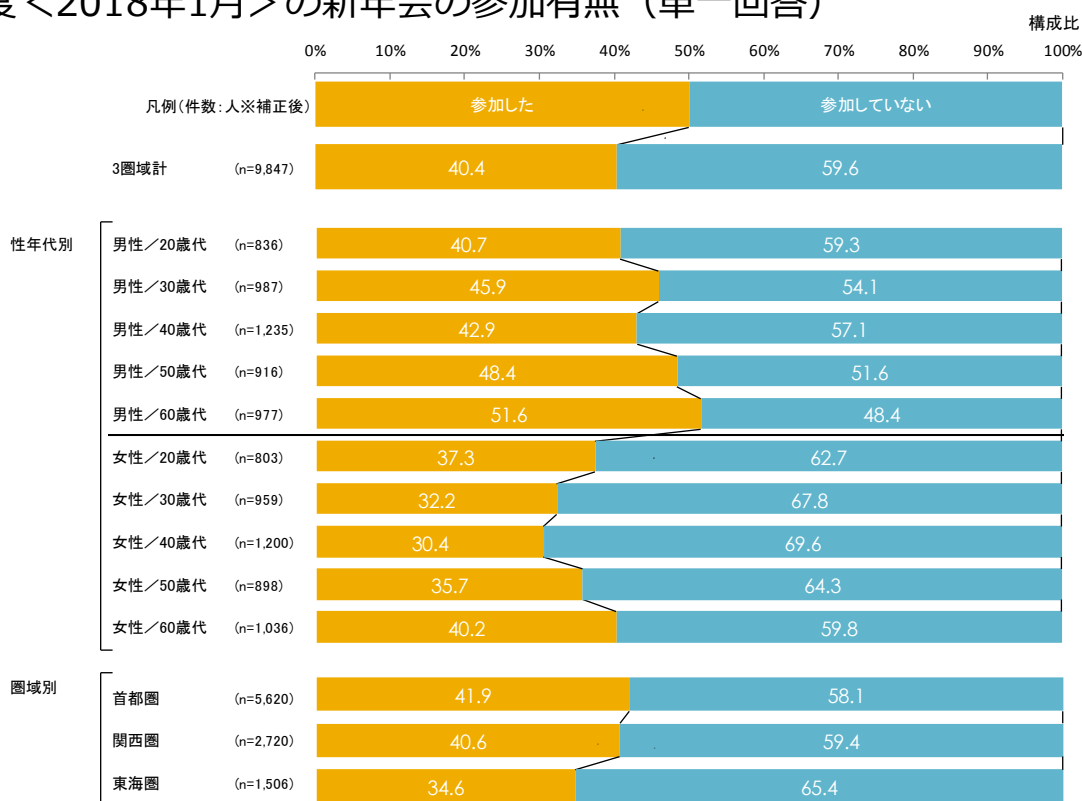
➢ 増加・計：「昨年より大きく増えそう」「昨年よりやや増えそう」のいずれかを回答した人
 ➢ 減少・計：「昨年よりやや減りそう」「昨年より大きく減りそう」のいずれかを回答した人

(参考) 昨年度<2017年12月~2018年1月>の忘・新年会参加有無

■昨年度<2017年12月>の忘年会の参加有無 (単一回答)



■昨年度<2018年1月>の新年会の参加有無 (単一回答)



※今回(2018年)調査で聴取

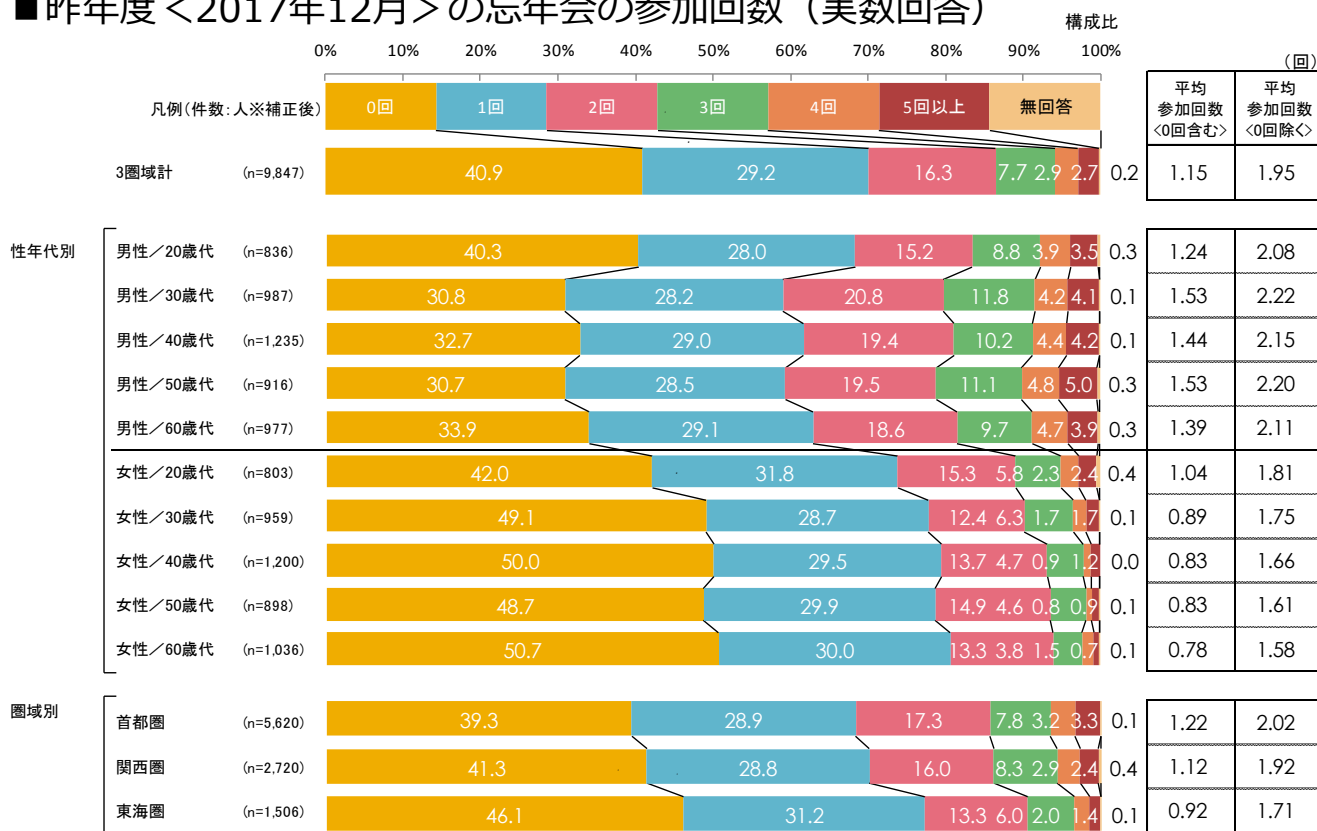
※「2017年12月の忘年会に参加した回数」の再集計

▶参加した: 「2017年12月上旬」~「2017年12月下旬」までの各時期のいずれかで1回以上を回答した人

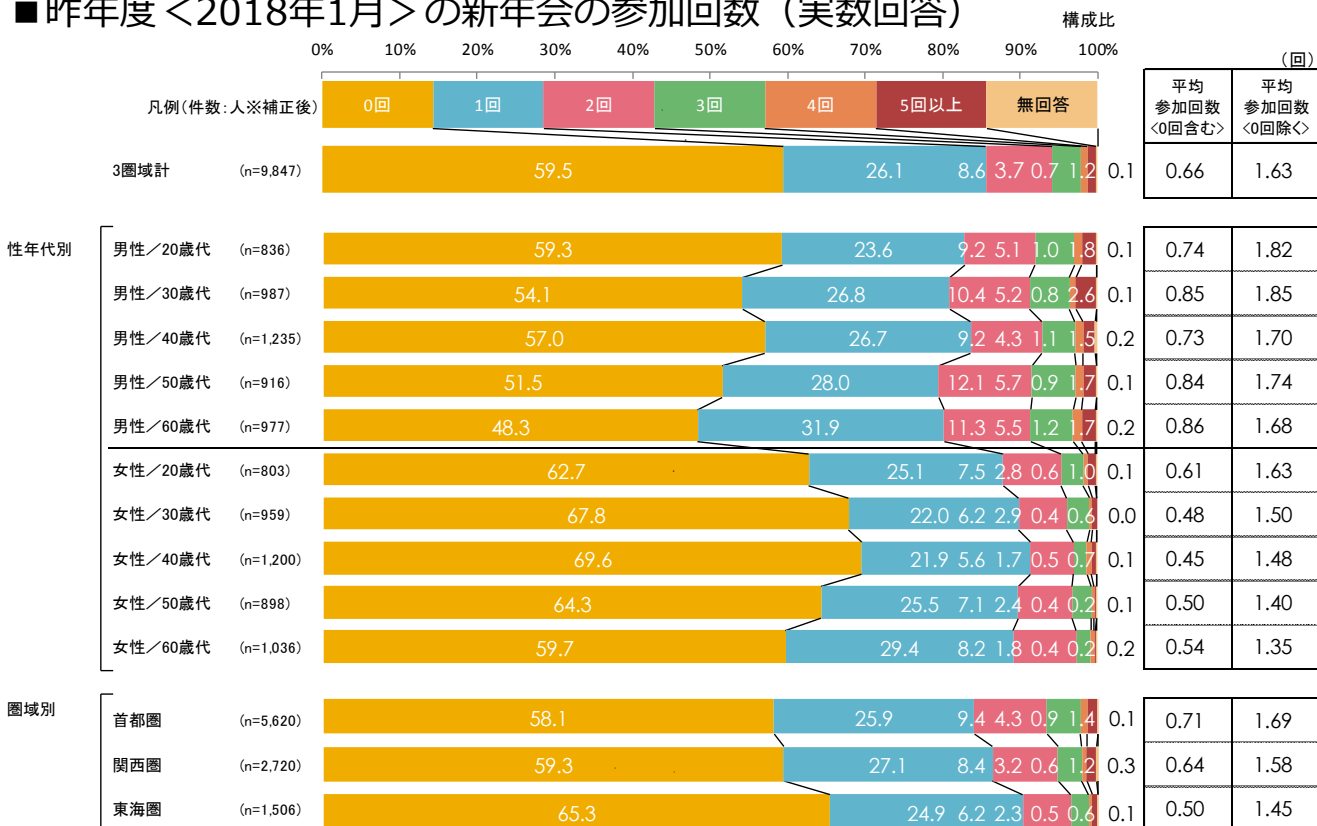
▶参加していない: 「2017年12月上旬」~「2017年12月下旬」までの全ての時期で0回を回答した人

(参考) 昨年度<2017年12月~2018年1月>の忘・新年会参加回数

■昨年度<2017年12月>の忘年会の参加回数 (実数回答)



■昨年度<2018年1月>の新年会の参加回数 (実数回答)



※今回(2018年)調査で聴取

※「平均参加回数」は、上下0.1%の範囲のデータを無効回答として集計している。

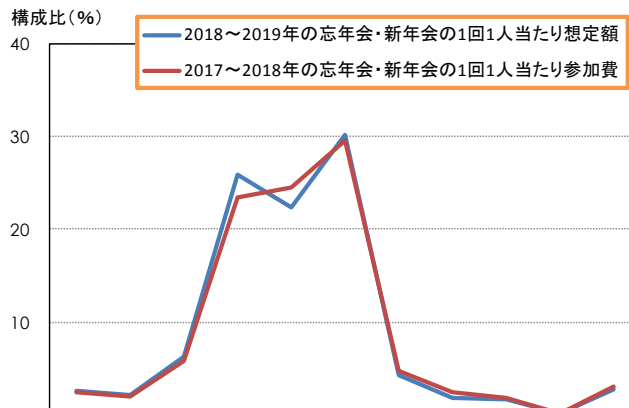
2. 忘・新年会予算（1回あたり）は2年連続で増加の見込み（前年比+19円）。 首都圏が単価アップをけん引（前年比+50円）

忘・新年会の予算について、昨年度に実際に使った金額と今年度の想定予算を聞いた。想定予算では、1回あたり「5,000円～6,000円未満」（30.1%）と「3,000円～4,000円未満」（25.9%）の2つのボリュームゾーンがある。1回あたり「5,000円～6,000円未満」の数値が3割を超えたのは、2012年の調査開始以来、初めてである。「0円（自分では払わない）」を除く今年度の想定額は4,395円（前年比+19円）と2年連続してプラス予想となった。実際に使った金額を見ると、こちらも2年連続で増加しているため、今年度も参加費は増加傾向にあるとあってよさそうだ。圏域別（次ページ）では、首都圏のみが前年度比でプラスの予測であるが、関西圏と東海圏では単価がマイナスの予測となっている。ただし、実際の参加費は事前の想定よりは高くなる傾向があるため、蓋を開けたら実際は前年度比で増額、という可能性もある。

■ 忘・新年会の1回あたりの参加費（支出実績）と想定予算（想定額） （2012年忘年会～2019年新年会、実数回答）

※想定額は参加する機会がありそうな人の回答、参加費は参加者の回答

<3圏域計>



		構成比(%)													平均(円)		
		0円	1~2千円未満	2~3千円未満	3~4千円未満	4~5千円未満	5~6千円未満	6~7千円未満	7~8千円未満	8~9千円未満	9千~1万円未満	1万円以上	無回答	参加費	想定額	想定額の 前年比	
(件数:人※補正後)																	
1回1人当たり想定額	2018~2019年	7,129	2.6	2.1	6.2	25.9	22.3	30.1	4.3	1.9	1.6	0.1	2.8	0.1	-	4,395	+19
1回1人当たり参加費	2017~2018年	5,034	2.5	2.0	5.8	23.5	24.5	29.6	4.7	2.4	1.9	0.2	3.0	0.1	4,506	4,376 *1	+50
時系列	2016~2017年 *1	5,089	2.8	2.1	5.7	24.4	24.3	28.6	4.7	2.7	1.8	0.1	2.7	0.1	4,456 *1	4,326 *2	▲62
	2015~2016年 *2	5,309	2.5	2.1	6.1	24.0	23.9	29.7	5.0	2.2	1.9	0.3	2.2	0.1	4,410 *2	4,388 *3	+76
	2014~2015年 *3	5,215	2.2	2.2	6.4	25.3	23.0	28.3	5.1	2.4	1.9	0.3	2.8	0.1	4,469 *3	4,312 *4	+53
	2013~2014年 *4	5,235	2.2	2.4	6.5	27.4	23.4	26.7	4.5	2.2	1.7	0.2	2.9	0.1	4,398 *4	4,259 *5	+20
	2012~2013年 *5	5,189	2.1	2.3	6.4	29.0	23.2	26.2	4.1	2.3	1.7	0.1	2.5	0.1	4,325 *5	4,239 *6	-

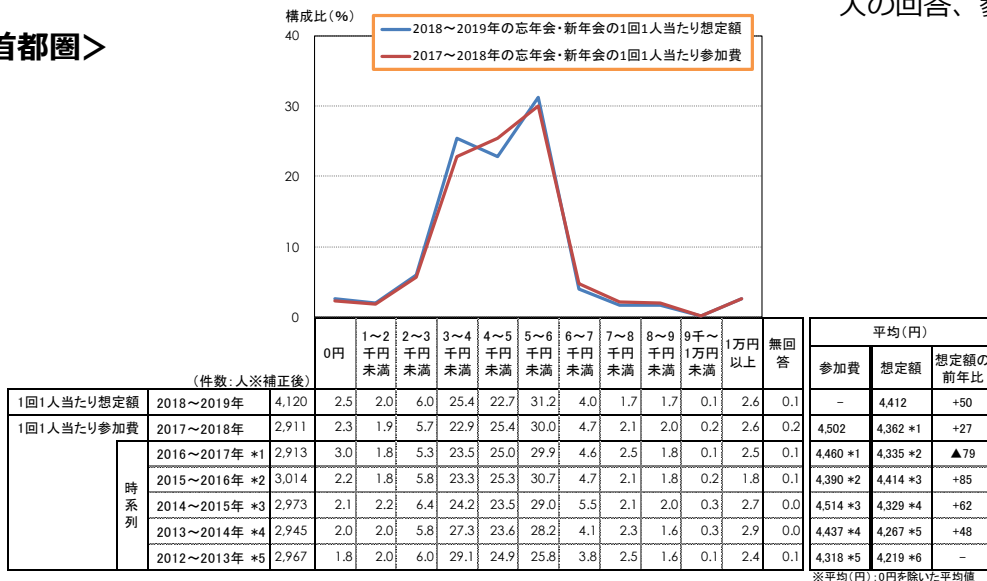
*1:2017年調査で聴取 *2:2016年調査で聴取 *3:2015年調査で聴取
*4:2014年調査で聴取 *5:2013年調査で聴取 *6:2012年調査で聴取

※平均(円):0円を除いた平均値

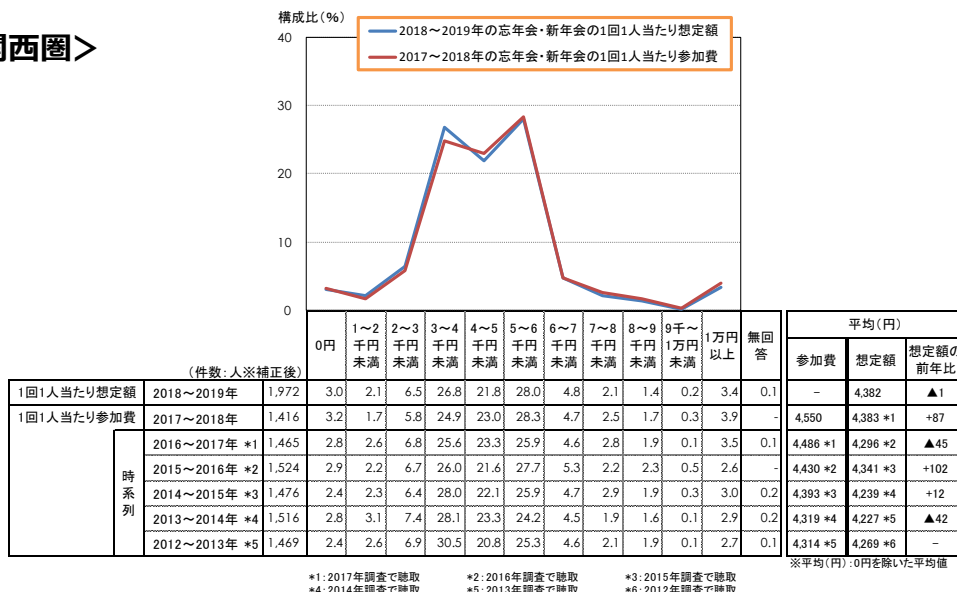
※平均は「0円（自分では払わない）」を除いて集計。
 ※各費用の上下0.1%の範囲のデータを無効回答として集計している。
 ※想定額は「自分で払ってもいい額」として聞いている。
 ※参加費は「自分で払ってなくても会にかかった1人当たりの金額」を聞いている。

■忘・新年会1回当たりの参加費（支出実績）と想定予算（想定額） （2012年忘年会～2019年新年会・圏域別、実数回答）※想定額は参加する機会がありそうな人の回答、参加費は参加者の回答

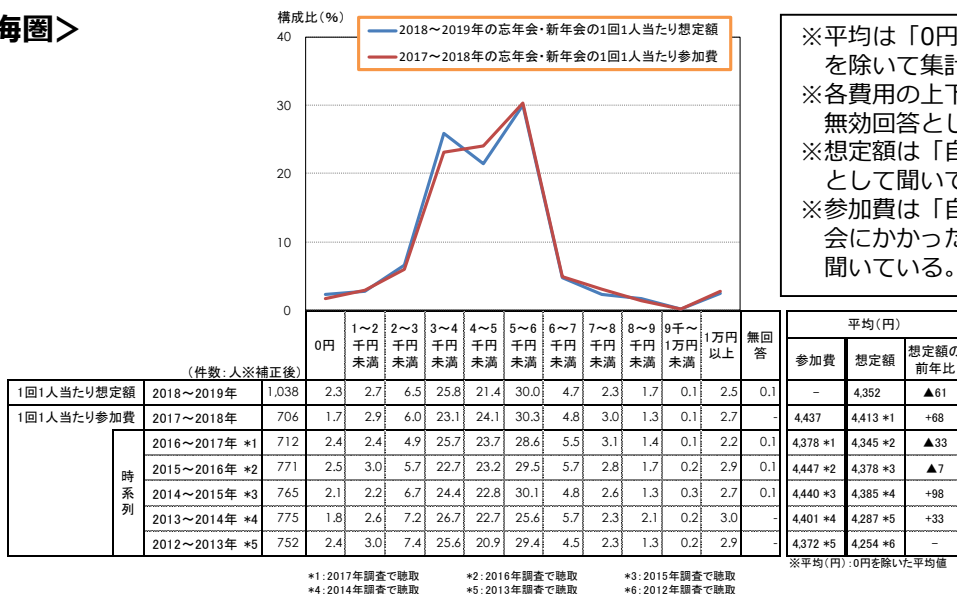
<首都圏>



<関西圏>



<東海圏>



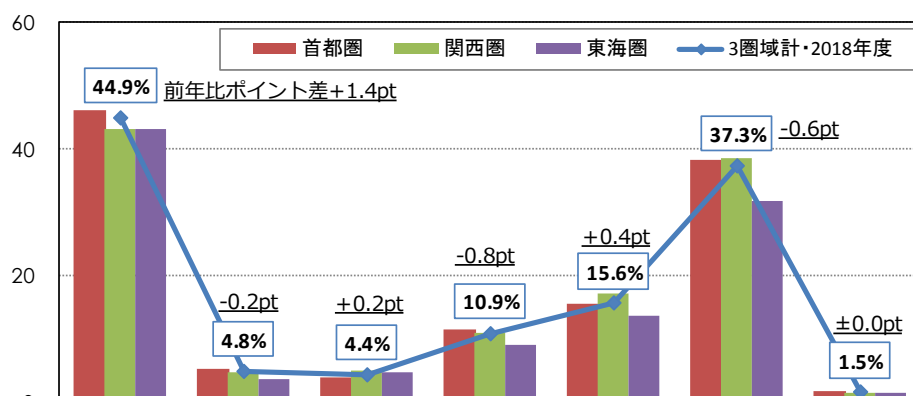
※平均は「0円（自分では払わない）」を除いて集計。
 ※各費用の上下0.1%の範囲のデータを無効回答として集計している。
 ※想定額は「自分で払ってもいい額」として聞いている。
 ※参加費は「自分で払ってなくても会にかかった1人当たりの金額」を聞いている。

3. 「会社・仕事関係」で実施する忘・新年会の予定が過去最高の44.9%

今年度、誰と忘・新年会を行う予定かを聞いた結果、3圏域合計で最も多かった相手は「会社・仕事関係」で44.9%と過去最高を記録し、次いで「友人・知人関係」が37.3%だった。昨年度の調査では、「会社・仕事関係」は過去5回の調査結果と比べても最低値だったが、今年度は一気に過去最高スコアを更新した。「会社・仕事関係」の忘・新年会予定が多いのは、30～50代の男性であるが、20代の男女でも前年に比べて数値が増加しており（前年度スコア：20代男性49.1%、20代女性43.4%）、若手も声がかかる機会は増えそう、と感じているようだ。一方、「友人・知人関係」は前年比-0.6ポイントと調査開始以来、年々減少している。他では、減少傾向にあった「家族・親族関係」（15.6%、前年比+0.4ポイント）は下げ止まりが見られたものの、「趣味・サークル関係」（10.9%、前年比-0.8ポイント）はまだ下落が続いている。

■今シーズンに参加する機会がありそうな忘・新年会の相手（複数回答）

構成比(%)



		(件数:人※補正後)							当てはまるものはない	
		会社・仕事関係	学校関係	地域の集まりの関係	趣味・サークル関係	家族・親族関係	友人・知人関係	その他の関係		
時系列	3圏域計・2018年度	9,847	44.9	4.8	4.4	10.9	15.6	37.3	1.5	27.6
	3圏域計・2017年度	10,069	43.5	5.0	4.2	11.7	15.2	37.9	1.5	28.4
	3圏域計・2016年度	10,264	44.1	5.3	5.0	11.7	15.7	38.6	1.5	27.0
	3圏域計・2015年度	10,048	44.2	5.4	4.7	12.7	15.7	40.7	1.9	25.5
	3圏域計・2014年度	9,726	44.2	6.0	4.9	13.2	17.5	41.9	1.9	23.9
	3圏域計・2013年度	9,248	44.4	6.8	5.5	14.1	18.0	43.6	2.2	22.4
	3圏域計・2012年度	9,478	44.3	7.3	6.0	15.5	19.2	47.0	1.3	21.7
性年代別	男性/20歳代	836	50.2	15.2	3.2	12.4	12.0	34.0	0.6	28.0
	男性/30歳代	987	71.5	4.2	4.8	9.4	12.7	37.1	1.6	18.4
	男性/40歳代	1,235	64.1	2.0	3.7	9.0	9.6	31.1	0.8	23.1
	男性/50歳代	916	63.8	3.1	5.1	11.2	12.6	34.8	2.5	20.8
	男性/60歳代	977	39.9	3.9	11.6	14.7	19.7	41.8	2.4	23.0
	女性/20歳代	803	44.9	12.9	1.6	10.7	15.8	40.6	1.3	24.9
	女性/30歳代	959	36.7	3.9	2.0	6.6	21.4	40.0	1.3	30.6
	女性/40歳代	1,200	35.2	4.5	2.5	8.2	15.6	36.9	1.4	34.7
	女性/50歳代	898	28.6	1.7	4.0	12.1	17.4	40.0	1.4	33.7
女性/60歳代	1,036	13.0	0.7	5.0	15.9	20.6	39.0	2.2	37.5	
圏域別	首都圏	5,620	46.2	5.2	3.9	11.4	15.5	38.2	1.6	26.7
	関西圏	2,720	43.1	4.6	5.0	10.9	17.1	38.6	1.5	27.5
	東海圏	1,506	43.1	3.7	4.8	9.1	13.5	31.9	1.5	31.1

太字 3圏域計より10ポイント以上高い項目

3圏域計より10ポイント以上低い項目

※「3圏域計・2017年度」は2017年調査、「3圏域計・2016年度」は2016年調査、「3圏域計・2015年度」は2015年調査、「3圏域計・2014年度」は2014年調査、「3圏域計・2013年度」は2013年調査、「3圏域計・2012年度」は2012年調査で聴取したもの

※前年比ポイント差:「(3圏域計・2018年度)-(3圏域計・2017年度)」で算出

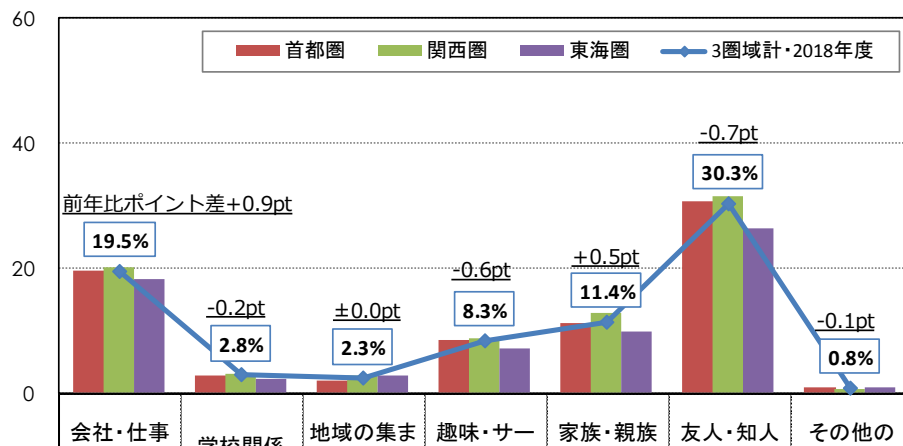
4. 忘・新年会に積極的に参加したい相手は

20・30代男女で「会社・仕事関係」の数値が増加

今年度の忘・新年会で「積極的に参加したい相手」を聞いたところ、「友人・知人関係」が3圏域合計で30.3%と最も多かったが、前年比では0.7ポイントの減少（6年連続の減少）であった。「会社・仕事関係」は参加機会が多い（前ページ参照）半面で、積極的に参加したい割合は低めだが、スコアは前年比で、+0.9ポイント改善した。特に20代男性（前年度スコア21.6%、前年比+3.2ポイント）、20代女性（同15.7%、+2.6ポイント）、30代男性（同30.2%、+3.7ポイント）、30代女性（同12.6%、+2.5ポイント）と、20・30代での積極参加意向が増加している。このところ、景気の回復や人手不足により、「会社・仕事関係」の忘・新年会では、会社が費用負担などを行うケースも目立つことから、20・30代の参加に対する心理的なハードルが下がっている可能性がある。また、「家族・親族関係」も前年比+0.5ポイントとこちらも今回は数値が改善した。

■今シーズン、積極的に参加したい忘・新年会の相手（複数回答）

構成比(%)



(件数:人※補正後)

	件数	会社・仕事関係	学校関係	地域の集まりの関係	趣味・サークル関係	家族・親族関係	友人・知人関係	その他の関係	当てはまるものはない
3圏域計・2018年度	9,847	19.5	2.8	2.3	8.3	11.4	30.3	0.8	48.5
3圏域計・2017年度	10,069	18.6	3.0	2.3	8.9	10.9	31.0	0.9	48.8
3圏域計・2016年度	10,264	19.0	3.0	2.8	8.8	11.6	31.4	0.9	47.8
3圏域計・2015年度	10,048	19.8	3.3	2.9	10.0	11.4	33.5	1.2	45.0
3圏域計・2014年度	9,726	19.8	3.8	2.7	10.3	12.7	34.5	1.1	43.6
3圏域計・2013年度	9,248	19.6	4.2	3.2	11.1	13.2	36.2	1.1	41.2
3圏域計・2012年度	9,478	20.1	4.5	3.5	12.2	14.0	40.8	0.7	38.1
男性/20歳代	836	24.8	8.3	1.5	9.1	8.8	27.4	0.4	49.3
男性/30歳代	987	33.9	2.9	2.6	7.0	8.9	29.2	1.0	45.5
男性/40歳代	1,235	27.3	1.2	2.2	7.1	7.2	24.8	0.4	51.0
男性/50歳代	916	28.6	2.3	2.5	9.6	9.2	28.0	1.5	46.9
男性/60歳代	977	20.2	2.6	7.3	11.5	15.4	34.1	1.2	40.5
女性/20歳代	803	18.3	7.3	0.8	7.0	11.4	33.7	0.5	44.5
女性/30歳代	959	15.1	1.9	0.6	4.9	15.1	33.3	0.7	49.3
女性/40歳代	1,200	12.3	2.0	1.2	6.3	9.8	29.1	0.6	55.1
女性/50歳代	898	10.6	0.9	1.7	8.3	13.1	32.5	0.8	50.0
女性/60歳代	1,036	4.5	0.7	2.4	12.8	16.1	32.3	1.4	50.0
首都圏	5,620	19.6	2.8	2.0	8.4	11.2	30.7	0.9	48.3
関西圏	2,720	20.0	3.1	2.8	8.7	12.7	31.5	0.7	46.8
東海圏	1,506	18.2	2.1	2.7	7.2	9.9	26.3	0.9	52.3

太字 3圏域計より10ポイント以上高い項目

3圏域計より10ポイント以上低い項目

※「3圏域計・2017年度」は2017年調査、「3圏域計・2016年度」は2016年調査、「3圏域計・2015年度」は2015年調査、「3圏域計・2014年度」は2014年調査、「3圏域計・2013年度」は2013年調査、「3圏域計・2012年度」は2012年調査で聴取したもの

※前年比ポイント差:「(3圏域計・2018年度)-(3圏域計・2017年度)」で算出